

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門 総務-08 財政事務									
主管課	財政課	関連課								
分野名	行財政運営									
目標 (目標値)	21世紀の新しい時代に即した行財政運営の構築									
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考					
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯						
	事業の対象者数									
運営資源状況	決算値(千円)	44,420	3,827	4,178						
	(国・県)		0	0						
	(負担金等)		0	0						
	(一般財源)	44,420	3,827	4,178						
	人員配置数	6.0人	6.0人	6.0人						
	人件費(千円)	49,327	51,515	55,192						
	協働のパートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	93,747	55,342	59,370						
	市民1人当りの経費(円)	527	312	335						
	対象者1人当りの経費(円)									
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名→	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	逗子市	秦野市	厚木市	大和市
	経常収支比率	97.6	89.6	94.7	92.0	89.4	97.1	89.2	97.4	94.4
	実質公債費比率	-0.1	3.4	1.9	2.7	9.1	5.2	4.7	3.1	3.5
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)			
		目標値								
		実績値								
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退										

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		
財政事務	44,420	財政事務	14,300	今後の方向性	B	理由・手法 包括予算制度本導入等により、持続可能な財政運営を行うとともに、効率的な事務処理を進めることで、超過勤務削減を図る。
				今後の方向性		理由・手法
				今後の方向性		理由・手法
				今後の方向性		理由・手法
				今後の方向性		理由・手法

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	予算編成、予算執行管理を円滑に実施し財政の効率化を図っていく。また、公会計制度や財政の健全化に関する法律に基づく指標の公開など事務量が增大する傾向にあるので、より効率的な事務処理が求められる。					
課題解決のための取組	包括予算制度及び財務会計システムの導入並びに事務執行の効率化を進めることにより、事務の円滑な執行を図っていく。				取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題	事業を執行するのに必要な財源が十分に確保されておらず、財政運営の健全性が十分に確保されていない。					
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○ ④公平性 ○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	包括予算制度本導入等により、持続可能な財政運営を行うとともに、効率的な事務処理を進めることで、超過勤務削減を図る。				➡	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 B
※□事業完了						

評価者名

財政課長

内海 正彦

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
財政事務	予算の編成、執行管理及び市債全体の管理に係る事務 財務諸表の作成・公開、財政の健全化比率の算定・公開に係る事務				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		476	事務補助嘱託員報酬 1人	1,029	1,028	○	○	○	○
		476	事務補助嘱託員費用弁償	101	14	○	○	○	○
		476	財務用追録等消耗品費	456	298	○	○	○	○
		476	印刷製本費	22	21	○	○	○	○
		476	起債管理システム用機器保守委託料	82	0	○	○	○	○
		476	起債管理システムデータ移行業務委託料	0	500	○	○	○	○
		476	財務書類作成支援業務委託料	2,170	2,169	○	○	○	○
		1001	財務会計システム開発・導入委託料	31,443	31,443	○	○	○	○
		1001	財務会計運用保守等委託料	3,906	3,500	○	○	○	○
476	起債管理システム使用料	189	189	○	○	○	○		
1001	財務会計システム使用料	8,505	5,258	○	○	○	○		
※ □	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※ □	事業完了							
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※ □	事業完了							
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※ □	事業完了							